

7月になっても、<sup>あめ</sup>雨が安定しない日が続いています。<sup>あつ</sup>雨の日、<sup>あつ</sup>暑い日、<sup>つか</sup>ちょっと疲れているなと思う日は、<sup>としよかん</sup>図書館でゆっくり本を読んでください。

## 夏休み前の本の貸出



もう少しで楽しい夏休みです。今年度は夏休みの貸出をしますので、家でゆっくり本を読んでください。いつもは読みきれない長いお話や夏休みの宿題に役立つ本、あまり読んだことのない内容の本にチャレンジしてみましょう。図書館まえのろうか<sup>としよかん</sup>で本を紹介していますので見てみてください。

☆貸出期間・・・7/10(月)から7/19(水)まで

夏休み用の貸出期間で本を 3さつ まで借りることができます。



- ☆ 夏休み貸出前にかりた本をかえさないとあたらしく本はかりられません。
- ☆ 人気シリーズの本の貸出は、たくさんの方が読めるように1さつにしましょう。
- ☆ かりた本は2学期がはじまったら、8/29(火)～31(木)にかえしてください。

## 今月の本の紹介

毎月、10個の分類番号の説明と本の紹介をします。



1 【道徳】…考え方・生き方・心・占いの本



『卒業しよう！  
めんどくさがり』  
「めんどくさい」の  
正体を知って、「めんどく  
さい」と上手に付き合  
おう！



『未来の扉をひらく  
偉人のことば』  
これからの人生に役立つ  
誰でも知っている100人  
の偉人の言葉をマンガで  
紹介しています。

ねんせい  
1・2年生

なつ どくしょ ぶん  
夏の読書かんそう文コンクール



ここでは、ていがくねんの部のかだい図書をしようかいします。



それで、いい!

いそ みゆき / 作 ポプラ社

きつねは絵をかくのが大好き。でも森の仲間から「へんな絵」とからかわれて絵がかけなくなります。そんな時、うさぎが「きつねの絵、大好き」といってくれて、きつねは絵が大好きな気持ちを思い出します。

よるのあいだに… みんなをささえるはたらくひとたち

ポリー・フェイバー / 文 BL出版

私たちがねている夜の間も、町では大きなビル、夜の道、線路の上などあかりがいっぱい。たくさんの人が働いています。いったいどんな人たちが、みんなの暮らしを支えてくれているのでしょうか？



けんかのたね

ラッセル・ホーバン / 作 岩波書店

ある日、家の中は大さわぎ。いぬはねこをおいまわし、4人きょうだいは大げんか。お父さんやお母さんがけんかのわけをきいても、子どもたちは口ぐちに、自分のせいじゃない! というばかり。じゃあ、だれのせい？

うまれてくるよ海のなか

かんちくたかこ / 文 高久至 / 写真 アリス館

魚の親たちが口やおなかの中で卵をひっしにまもりそだてるたくましい姿、生まれてきたかわいい子どもの姿、大自然のきびしさが色あざやかな写真から伝わってくる写真絵本です。



どくしょかんそうぶんぜんこく (読書感想文全国コンクールには、課題図書以外の本でもおうぼできます。)



ねんせい  
3・4年生

なつ どくしょ ぶん  
夏の読書かんそう文コンクール



ここでは、<sup>ちゅうがくねん</sup>中学年の部のかだい<sup>と</sup>図書<sup>しよ</sup>をしようか<sup>い</sup>します。



ライスボールとみそ蔵と

よこたあきこ さく えほんじゅくしゅつぱん  
横田明子 / 作 絵本塾 出版

ふる くら てづく つく いえ う ふる  
古い蔵で手作りみそを作る家に生まれたジュンは、古く  
さいみそ屋<sup>や</sup>が<sup>だい</sup>大き<sup>ら</sup>い。そんな時<sup>とき</sup>ロンドンからの転校生<sup>てんこうせい</sup>の  
ユキちゃん<sup>で</sup>に出<sup>あ</sup>い、ジュンの心<sup>こころ</sup>はだんだんと変化<sup>へんか</sup>します。  
ジュンがみそ蔵<sup>くら</sup>で思<sup>おも</sup>いついたアイデアとは？

フードバンクとろぼうをつかまえろ！

キュー さく しよぼう  
オンジャリQ.ラウフ / 作 あすなろ書房

まんぞく しよくじ かてい しよくひん わ た ものぎんこう  
満足に食<sup>く</sup>事ができない家庭<sup>けいたい</sup>に食<sup>く</sup>品<sup>ひん</sup>を分<sup>わ</sup>けてきた食<sup>た</sup>べ物<sup>もの</sup>銀行<sup>ぎんこう</sup>  
(フードバンク)。そんな世界<sup>せかい</sup>でいちばんすばらしい銀行<sup>ぎんこう</sup>が悪<sup>わる</sup>  
いやつらにねらわれているらしい。ネルソンたちは、子<sup>こ</sup>ども  
探偵<sup>たんてい</sup>とな<sup>っ</sup>て、ひそかに調<sup>ちようさ</sup>査<sup>さ</sup>にのりだした！



かせき こえ 化石のよぶ声がかきこえる てんききょうりゅう 天才恐竜ハンター ウェンディ・スロボータ



へれいん・べっかー / 作 くもん出版

はくあき い きょうりゅう かせき  
白亜紀<sup>はくあき</sup>を生<sup>い</sup>きた恐<sup>きょうりゅう</sup>竜<sup>りゅう</sup>「ウェンディケラトプス」の化石<sup>かせき</sup>  
を世界<sup>せかい</sup>ではじめて発<sup>はくつ</sup>掘<sup>くつ</sup>し、その名<sup>な</sup>の由<sup>ゆ</sup>来<sup>らい</sup>とな<sup>っ</sup>たカナダ  
の女性<sup>じよせい</sup>恐<sup>きょうりゅう</sup>竜<sup>りゅう</sup>ハンター、ウェンディ・スロボータ。現在<sup>げんざい</sup>も  
活<sup>かつ</sup>やくする彼女<sup>かのじよ</sup>の半<sup>はん</sup>生<sup>せい</sup>を<sup>えが</sup>描<sup>で</sup>いた伝<sup>でん</sup>記<sup>き</sup>絵<sup>え</sup>本<sup>ほん</sup>です。

きゅうしよくしつ 給食室のいちにち

おおつか な お ぶん しようねんしゃしんしんぶんしゃ  
大塚菜生 / 文 少年写真新聞社

きゅうしよくしつ ちようりいん  
給食室<sup>きゅうしよくしつ</sup>には、いろいろなひみつがあります。調理員<sup>ちようりいん</sup>の  
エプロン<sup>い</sup>やくつ<sup>いろ</sup>の色<sup>いろ</sup>がちがうのはどうして？ 給食<sup>きゅうしよく</sup>を最初<sup>さいしよ</sup>  
に食<sup>た</sup>べるのはだれ？ 給食室<sup>きゅうしよくしつ</sup>のひみつをさぐりながら、  
給食<sup>きゅうしよく</sup>がつくられるようすをのぞいてみましょう！



どくしょかんそうぶんぜんこく かだいとしよいがい ほん  
(読書感想文全国コンクールには、課題図書以外の本でもおうぼできます。)



ここでは、<sup>こうがくねん</sup>高学年の部のかだい<sup>と</sup>図書<sup>としよ</sup>をしょうかいします。



**ふたりのえびす**

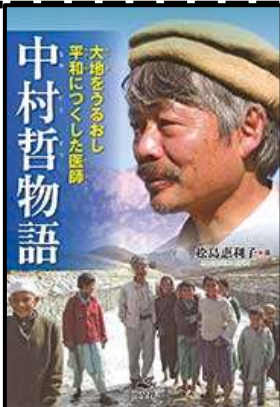
<sup>たかもり み ゆ き さく</sup>高森美由紀 / 作 <sup>かん</sup>フレーベル館

クラスでは明るいおちゃらけキャラを演じている太一。  
王子と呼ばれ女子に人気の高い大路優希と「八戸えんぶり」  
でえびす舞をおどることになった。たがいの気持ちをぶつけ  
合いながら、最後にふたりがつかんだものとは？

**5番レーン**

<sup>ばん</sup>ウン・ソホル / 作 <sup>さく</sup>すずき出版

勝つことがすべてだと思っていた、<sup>しょうがっこうすいえいぶ</sup>小学校水泳部エース、  
カン・ナルは急にタイムを上げてきた他校生に負けてしま  
い<sup>くる</sup>苦しみ<sup>なや</sup>悩む。ライバルへの<sup>たいこうしん</sup>対抗心<sup>はつこい</sup>やあせり、初恋にゆれる  
<sup>かんこくはつせいしゆん</sup>韓国発青春ストーリー。



<sup>なかむらてつものがたり</sup>  
**中村哲物語** <sup>だいぢ</sup>大地をうるおし<sup>へいわ</sup>平和につくした<sup>いし</sup>医師

<sup>まつしま えり こ ちよ</sup>松島恵利子 / 著 <sup>ちようぶんしゃ</sup>汐文社

<sup>びょうき</sup>病気やうえに<sup>くる</sup>苦しむアフガニスタンの人たちを<sup>ひと</sup>目の<sup>ま</sup>当た  
りにした<sup>なかむら</sup>中村<sup>いし</sup>医師は、<sup>はくい</sup>白衣を脱ぎ、<sup>ぬ</sup>おどろきの<sup>こうどう</sup>行動に出ます。  
それは<sup>さばく</sup>砂漠となった<sup>とち</sup>土地に<sup>ようすいろ</sup>用水路をつくり<sup>みどり</sup>緑の<sup>だいぢ</sup>大地をよみが  
えらせる<sup>はらん</sup>こと…。<sup>しょうがい</sup>波乱に<sup>しやうがい</sup>みちた<sup>でんき</sup>生涯をつづる伝記。

**魔女だったかもしれないわたし**

<sup>ちよ</sup>エル・マクニコル / 著 <sup>ピーエイチピーぶんこ</sup>PHP文庫

<sup>むかし</sup>昔、<sup>ひと</sup>「人とちがう」というだけで<sup>しよけい</sup>処刑された人たちがいた。  
<sup>まじよさいばん</sup>魔女裁判の話<sup>はなし</sup>を聞いた<sup>き</sup>自閉の<sup>しへい</sup>少女・<sup>しょうじよ</sup>アディは<sup>いれいひ</sup>慰霊碑を作る  
ことを<sup>ていあん</sup>提案するが…。<sup>まじよ</sup>「魔女狩り」という史実<sup>が</sup>にからめて、  
<sup>たようせい</sup>多様性の<sup>たいせつ</sup>大切さをうったえた<sup>せいちやう</sup>成長<sup>えが</sup>を描いた<sup>かんどうさく</sup>感動作。

